

2018 年度 WASEDA e-Teaching Award 実施要領

大学総合研究センター

1. 目的

- ICTの中でも、特にLMS（Learning Management System）やネットワークを活用して教育効果の向上をはかる取り組みを” e-Teaching” と定義し、その実践的な取り組みで成果を挙げる Good Practice を共有する。
- 教育効果を挙げている e-Teaching の取り組みを表彰し顕在化させることで、相乗効果により教員のモチベーションを高め、より質の高い教育の提供・学習効果の向上に寄与する。
- エントリーされた教員やその e-Teaching 手法を、早稲田大学の優れた教育事例として公開することで、本学の教育内容の透明化を図り、社会からの理解と評価を求めることに繋げる。

2. 実施対象

1) 候補者の資格

2018 年度に早稲田大学に在籍し、授業を担当する全教員（非常勤講師含）
※但し、学外共同プログラムについては学外担当者の連名も可。

2) 対象となる授業

早稲田大学に設置された 2018 年度開講全科目のうち、以下の①～④のいずれかに該当する授業

- ①フルオンデマンド授業
- ②オンデマンド併用授業
- ③ビデオ会議システム等を活用したネットワーク型交流授業
- ④①～③以外で Course N@vi やその他 ICT ツールを活用した授業

3. エントリー

1) エントリー期間（WASEDA e-Teaching Award・Good Practice 賞共通）

2018 年 10 月 2 日（火）～10 月 15 日（月）23:59

2) エントリー方法：ウェブ申請

下記申請フォーム（自薦・他薦共通）より、必要事項を入力して「申請」ボタンを押下する。

（申請フォーム URL） <https://goo.gl/w5rGzY>

※自薦または教職員による他薦も可とする。

- 自薦、他薦ともにエントリー件数の制限は設けない。
- 1 件のエントリー内に含む、対象となる授業数に制限は設けない。

例) A 教員が実施する同様の e-Teaching 手法を採る科目群 X, Y, Z の同時エントリー可
B 教員が実施する、春・秋学期の科目 I・II の同時エントリー可

4. 審査

1) 審査期間および審査結果発表日

①Good Practice 賞審査期間：

2018年10月17日（水）～10月23日（火）

②Good Practice 賞審査結果発表日：

2018年10月30日（火）

※Good Practice 賞審査結果を、推薦者・被推薦者に対してメールで通知する。

③ヒヤリング・取材期間（WASEDA e-Teaching Award 審査対象者）：

2018年11月5日（月）～2018年12月19日（水）

※Good Practice 賞授賞決定者は自動的にWASEDA e-Teaching Award 審査対象となるため、上記期間において、ウェブ申請内容に基づいて審査事務局が被推薦者に対してヒヤリング・取材を行う。

※ヒヤリング・取材は事前に日程調整を行い、当日は1～1時間半程度要する見込み。

※ヒヤリング・取材した内容は事例記事として扱い、WASEDA e-Teaching Award 審査とともに学内広報や事例紹介として公開する。

（ご参考：WASEDA e-Teaching Award 事例記事）

<http://www.quon.asia/yomimono/waseda/GP/2018/06/>

※事例記事およびウェブ申請内容を総合的に勘案してWASEDA e-Teaching Award の審査を行うため、やむを得ない事情等によりヒヤリング・取材に応じることができない場合、WASEDA e-Teaching Award の審査対象から外れることがある。なお、ヒヤリング・取材時に審査参考資料として、教材や講義動画、その他関連資料を別途提供いただくことがある。

④WASEDA e-Teaching Award 審査期間：

審査期間：2018年12月下旬～2019年1月中旬予定

審査委員会：2019年1月中旬～2月上旬予定

2) 審査組織・審査方法

①Good Practice 賞審査：

ウェブ申請内容をもとに、大学総合研究センター所長・副所長を中心に審査原案を作成し、教育方法研究開発委員会において協議の上、決定する。

②WASEDA e-Teaching Award 審査：

ウェブ申請内容および事例記事をもとに、過去の同賞受賞者、大学総合研究センター所長・副所長および大学総合研究センター所長が指名する教育方法研究開発委員会委員若干名が審査委員会にて審査し、教育方法研究開発委員会において協議の上、決定する。

3) 審査基準 (Good Practice 賞・WASEDA e-Teaching Award 共通)

下記①～④の基準を踏まえ、総合的に審査する。

①学習効果の向上：

インタラクティブ機能や情報共有機能により受講者の理解を促進し、学習意欲を維持・向上させるなど、学習効果を向上させる工夫がされていることが質的または量的分析で明らかであること。

②教場授業における課題の改善：

e-Teaching の利点を生かすことにより教場授業における問題点や課題を改善し、その結果として組織の目標達成に大きく貢献できるものであること。

③新たな教育手法・学習スタイルの創出：

チャレンジ精神を発揮した試みであり、新しい教育手法や学習スタイルの創出など、e-Teaching の将来に貢献するものであると判断されること。

④「学生授業アンケート」の活用：

エントリー頂いた科目の「学生授業アンケート」の設問項目「総合的にみてこの授業は有意義であった」を対象とする。

5. 受賞者の決定

最終的な受賞者は教育方法研究開発委員会（2019年3月22日開催予定）で決定する。

6. 表彰

- ・表彰式にて、受賞者による講演会を実施する。
 - ・大学総合研究センター所長名で表彰状を授与する。
 - ・受賞を称えるトロフィーを授与する。
 - ・エンブレムを印字した名刺を授与する。
 - ・WASEDA e-Teaching Award 受賞を証明するエンブレムイメージ画像を授与する。
 - ・学内広報誌、ウェブページなどで表彰結果を公表する。
- ※エンブレムは、受賞科目のシラバスや、印刷物、ウェブサイト等に自由に掲載可能。
※受賞者数は若干名とする。

7. スケジュール (予定)

時期	予定
10月2日(火)～10月15日(月)	エントリー期間 (WASEDA e-Teaching Award・Good Practice 賞共通)
10月17日(水)～10月23日(火)	Good Practice 賞審査期間
10月30日(火)	Good Practice 賞審査結果発表日
11月5日(月)～12月19日(水)	ヒヤリング・取材期間 (WASEDA e-Teaching Award 審査対象者)
2018年12月下旬～2019年1月中旬	WASEDA e-Teaching Award 審査期間
2019年1月中旬～2月上旬	WASEDA e-Teaching Award 審査委員会にて審査
3月22日	教育研究開発委員会にて決定
4月下旬～5月下旬	WASEDA e-Teaching Award・Good Practice 賞表彰式

以上